

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまSun(放デイ)		
○保護者評価実施期間	令和6年7月1日	～	令和6年7月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27人	(回答者数)	24人
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日	～	令和6年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害(知的・情緒など)別、発達状況に応じた個別支援ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人(保護者など)との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができている。 ・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、公認心理師が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	施設のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場から事業所までの間に、車いす等がスムーズに通過しづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がお手伝いしたり、車寄せできるようにしたりし、できる限りの配慮できるようにする。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和7年 2月 1日

事業所名: おひさまSun

保護者等数 27(児童数)

回収数 24

割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3	2	・人数や遊びによって部屋を分けている。 ・少し狭いように感じる。	・おひさまSunでの午前の活動はお散歩で公園を活用したり、室内遊びの際は2部屋に分けて使うようにしたりしています。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1	1	・活動を見ていないので分からない	・配置基準が子ども10人に対して、職員2名となっていますが、お子さんに合わせて職員をプラスで1~2人配置するようにしています。学童グループも活動はマジックミラーからいつでも見て頂いて構いません。	
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	5			・お気づきの点がありましたらお知らせください。	
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	22	2			・保護者の方からお聞きした内容を個別支援計画や日頃の活動に取り入れるようにしています。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24			・毎回、工夫して楽しい活動計画にしています。	・子ども達同士の話し合い活動(ソーシャルスキル)を中心に、クッキングや屋外活動、ハートピアール活動も取り入れています。	
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	8	4	・公園で地域の方や他の事業所の子どもたちと会うこともある。 ・ない(未回答1)	・公園で地域の子ともと一緒に遊んだり、児童の子とも達と行事を行う機会を設けていただきました。また、現在児童クラブや少年団で活動している子どもたちもいます。	
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24			・計画書に沿って説明してもらい分かりやすい。	・負担金等につきましては、領収書をお渡ししています。また、ご不明な点がありましたらお知らせください。	
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22		2	・気付いた事などすぐに話してもらい安心する。 ・子どもの状況が日々変わるもので何とも書えない。	・活動終了時間の15分前に振り返りの時間を設けています。その後で1人1人の様子や現状の課題などもお伝えさせて頂いています。また、面談等の時間もその都度設けて頂いているので、いつでもご相談下さい。	
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21		3	・定期的に面談があり、話しをする場が有難い。	・送迎時等で保護者の方と色々なお話ができるように心掛けています。いつでもお気軽にお話しください。	
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18		5	・保護者会、相談会が有難い。 ・連絡、支援など分けて話し合うのも良さそう。	・父母の会は設立してはいるものの、懇談会等を通して児童と放課後の保護者同士のコミュニケーションが図れるように今年度は9月に実施しました。2月は講座を開催しています。	
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22		2	・その日にあった事を教えてくれる。 ・相談した事を気にかけて見守ってくれる。	・活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもとより良い支援に繋がるように情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしています。	
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24				・保護者と子どものバイブ役となりながら必要に応じて個別で話を聞けるようにしています。	
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22		2	・ホームページで活動内容や準備物を確認できる。	・毎月お便りをホームページに掲載、また、お知らせ等メールを使っての配信を行っています。	
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	22		2		・秘密保持義務において、守秘義務を徹底するように職員へ周知しています。	
	非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20		3	1	・掲示での周知や緊急時のマメール活用も想定し年に1回マメール送信を踏まえた避難訓練を行なっています。
		⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21		3		・やった事がないように思う。 ・毎月事業所全体での避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児対象の避難訓練は年に1回行っています。今年度もマメールを使用しての避難訓練を行いました。
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	21		3	・「何をするのかな？」「〇君くかな」と楽しみにしている。 ・特にクッキングを楽しみにしている。 ・「すごく楽しい」と言っている。 ・楽しみにしている時や嫌がる時がある。	・子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。また、何かありましたらお知らせください。 ・感染症対策や安全に気を付けながら、毎月、クッキング活動や屋外活動をしています。食育等に繋がる楽しみな活動にしていきたいと思っています。	
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	24			・今は支援に満足している。	・ご意見ありがとうございます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
--	--------	----	---------------	-----	-----	----------------

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和7年 2月 1日

事業所名: おひさまSun

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数、子どもの状況に合わせたグループ、スペースを分けたり戸外でお散歩したりの活動を行っています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			10:2の配置基準を満たし、追加で1名~2名配置し、子どもに合わせて活動を行っています。また、定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			室外・室内に関しては段差がある等整備が不十分なところがありますが、できる部分や心のバリアフリーを考慮配慮するようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に業務改善についての会議で話し合いをしています。必要に応じて掲示や朝礼で伝え、職員で共通理解をしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			放課後等デイサービス対象の懇談会を実施して迅速な対応と改善に繋がっています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開し、懇談会等で保護者へお伝えできるようにしています。また、掲示をしていつでも見られるようにしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部に評価をお願いしていませんが、第三者委員会にて評価を聞く機会を設けています。	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各職員が公開療育や外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職からの助言を頂き学ぶ機会を設けています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			連絡表や個別支援計画を通して、ニーズに基づく活動ができるように計画を立てています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要に応じて感覚プロフィール等を実施して評価をしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員同士で打ち合わせを行い、子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の話し合いを中心に、活動内容が固定化されないようにしています。子どもたちの利用が不定期の為、活動内容が同じになることもありますが、1日の活動を通して様々な活動が経験できるようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後や長期休暇等に応じて、子どもの状況に合わせてながら設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を設定した上で個別の設定等子ども達の状況に合わせてながら行うようにしています。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員で打ち合わせを行い、確認することや子どもの関わり方について支援が統一できるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行いながら次に繋げることができるようになっています。また、保護者からの話も記録に残して情報共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録や全体記録をとっています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の話や連絡会等の内容を記載し、反映しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			様々な活動を組み合わせています。反省を活かし、職員会議や研修等で支援を工夫するようにしています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に担当者も参加するようにしています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			小学校連絡会を通して、情報共有や勉強会の機会を設けています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			今年度対象児がいませんでした。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所と連携を図り、情報共有ができるようにしています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			今年度対象児がいませんでした。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			外部研修や公開療育を通して連携を図り、他事業所との勉強会を年2回行っています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の公共施設や公園の利用を通して、地域の方や子どもたちとの交流につながるようになっています。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人関係者が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎や活動終了後の振り返りを通して、話す時間を作っています。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			懇談会で専門療法士の先生から講話等を頂く機会を設けています。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は設立していませんが、家族通園や行事への家族参加、懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			その日の対応が難しい場合は別日に面接等を行い対応できるように心掛けています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のおたよりや年間計画、マメール等を通して、周知しています。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			契約時に書面を用いて説明を行っています。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて、視覚支援を用いた対応を行っています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			町内会への参加や行事を計画し、理解をもらえることができるようになっています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応ができるよう連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いて頂いたり、メールを利用したりして緊急連絡ができる状況を確認したりしています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所としては毎月、避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児の対象の避難訓練は年1回行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修、内部研修、資料回覧、読み合わせ等を行っています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				基本、身体拘束は行っていません。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			外傷記録簿や個人日誌に記録をとっている。朝礼等を通して職員に周知を行い、再発防止に努めています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)